





代表質問通告書一覧（12月4日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(36番) 新谷 紘一 (自由民主党)</p>	<p>1 新年度予算の編成について</p> <p>県政推進に大きな意味を持っている、間近に迫った平成28年度予算の編成に向け、知事はどのような方針で臨むのか。</p> <p>2 名阪国道について</p> <p>鉄道網がない地元にとって、地域の経済活動や生活に欠かせない重要な社会基盤となっている名阪国道が、もし単に有料にでもなったら、死活問題であるが、知事が交通需要マネジメントの例として言われている、通過交通だけを対象に有料とする方法とは、どのようなものなのか。</p> <p>3 カジノの誘致について</p> <p>カジノには、世界各国の富裕層が多く訪れ、長時間滞在することから、宿泊観光にもつながり、地域経済の発展にも大きく寄与すると考える。統合型リゾート施設（IR）整備推進法案が成立し、国で認められたら、奈良県の観光振興と奈良県経済の発展のために、カジノの誘致について検討する考えはないのか。</p> <p>4 奈良マラソンについて</p> <p>奈良マラソンは全国のランナーにも支持され、地元からも支援される大会であり、本県においては、なくてはならないスポーツイベントに成長した。これからも末永くこの人気が続くように、今後さらに奈良マラソンをどのように発展させ、そして地域経済への貢献についても、どのように取り組んでいこうとしているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(36番) 新谷 絃一 (自由民主党)</p>	<p>5 大和茶の振興について</p> <p>若い生産者が、将来にわたって、夢を持って茶業に取り組むことができるよう、良質で安全安心な大和茶の生産振興や、海外での販路拡大に向けた取組について、知事の所見を伺いたい。</p>	知 事
	<p>6 森林環境税について</p> <p>(1) 現行の第2期目の森林環境税は、今年度最終年度となるが、森林を取り巻く様々な社会的背景を考慮すればこの制度を継続し、間伐などの森林整備事業を重点的に実施していくべきではないかと考えるがどうか。</p> <p>(2) このような取組と併せて、県内の森林整備を推進していくためには、地域で森林を維持管理する森林組合の育成と、林業事業体の強化を図ることが必要不可欠と考えるがどうか。</p>	知 事
	<p>7 県民の安全・安心を守る活動について</p> <p>(1) テロ対策について</p> <p>県民はもとより、県外から観光に訪れる方の安全・安心を確保するために、テロの未然防止対策に万全を期すことが重要であると考えているが、警察としてどのような対策を講じているのか。また、フランスの連続テロ事件では、ソフトターゲットといわれている比較的警備が手薄な多くの人が集まる場所が狙われていることから、こうした場所に対する対策については、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 桜井市内における釈放中の容疑者逃走事案への対応について</p> <p>11月21日に発生した本事案の発生を受けて、また、県民の安全・安心をキープするために、どのような活動をしたのか。</p>	警察本部長

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(37番) 粒谷 友示 (自民党奈良)</p>	<p>1 地方創生総合戦略について</p> <p>地方創生総合戦略の目指す基本目標を「住んでよし」「働いてよし」「訪れてよし」の大きく3点にわたって設定されたが、これらの基本目標の下、今後、奈良のより良き未来をつくっていくため、どのような思いを込めて、総合戦略をとりまとめられたのか。</p> <p>2 外国人観光客の誘客について</p> <p>訪日外国人旅行者数が大幅に伸びる中で、奈良県への外国人旅行者の入込数や宿泊者数の状況はどうなっているのか。そのことを踏まえ、県として観光振興のため、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>3 国民文化祭について</p> <p>平成29年開催予定の国民文化祭において、奈良県大芸術祭などの現在行われている文化施策とどのように連携を進めていこうと考えているのか。また、奈良県全域への展開を市町村と連携してどのように進めようと考えているのか。</p> <p>4 仏像などの文化財を活用した奈良の魅力発信について</p> <p>「日本の宝」というべき仏像などの文化財を活用した奈良の魅力発信について、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>5 首都圏での県産農産物の販売促進の取組について</p> <p>東京での県産食材レストラン「ときのもり」の概要及びオープン後の運営と活用について、どのように考えているのか。また、そのほか、首都圏での県産農産物の販売促進をどう進めているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(37番) 粒谷 友示 (自民党奈良)</p>	<p>6 人口減少時代における今後の住宅地のあり方について</p> <p>県内各地にある良好な環境を備えた郊外住宅地について、今後、住み続けられる住宅地として維持していくためにはどのような施策が必要と考えているのか。</p>	<p>知 事</p>
 <p>(19番) 松尾 勇臣 (なら維新の会)</p>	<p>1 災害救助、被災者生活再建支援に関する条例の制定について</p> <p>本県の地域特性を考慮した独自の災害救助、被災者生活再建支援に関する条例があれば、救助や支援にかかわるすべての組織の対応がよりスムーズになると考えるが、県の考えを伺いたい。</p> <p>2 本県経済の活性化について</p> <p>(1) これまでに本県が発行したプレミアム商品券の利用実績や本県経済に対する効果について伺いたい。</p> <p>(2) 奈良で頑張っている企業が奈良に根を張り、奈良から利益を生み出し、日本全体の経済活性化に寄与していけるようになれば素晴らしいと考える。県内企業の育成・支援をどのように展開し、今後の本県経済を活性化していこうと考えているのか。</p> <p>3 攻めの農林業について</p> <p>(1) 農・林産物等のブランド化による高付加価値化を進め、輸出拡大に積極的に取り組むことで「攻めの農林業」を展開すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 都道府県としてTPPの農林水産分野の影響分析を行っているところがあるが、奈良県ではこのような影響調査を行っているのか。行っていないのであれば、ぜひとも行うべきであると考えているが、県の取組について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
<p>(19番) 松尾 勇臣 (なら維新の会)</p>	<p>4 災害復旧事業について</p> <p>紀伊半島大水害の大規模な河川災害復旧工事箇所において、本年7月の出水により、工事途中であった河川護岸が一部崩壊したが、この被災の原因は何であったと考え、どのように分析しているのか。また、今後、出水に対する対応をどのように考えていくのか。</p>	<p>県土マネジメント 部長</p>
 <p>(44番) 川口 正志 (創生奈良)</p>	<p>1 地方分権を守る立場から「戦争の恐怖の語りべ」と沖縄県普天間基地について</p> <p>翁長沖縄県知事が取り消した、普天間飛行場代替飛行場建設事業にかかる公有水面の埋め立て承認に関し、公有水面の埋め立て許可については、平成12年の「地方分権一括法の改正」により、国は機関委任事務から法定受託事務に変え、国と県は対等の立場になったものであり、「地方自治を守る」ために、今回の国の横暴な埋立代執行という強権司法手続きは許されないと考える。分権改革で確認された国の関与の基本原則である「地方公共団体の自主性及び自立性に配慮しなければならない」の本旨を踏みにじる国の強権発動は本末転倒であり、奈良県知事として「地方分権を守る立場」からも、国の本末転倒の横暴なやり方に立ち向かう翁長沖縄県知事に連帯し、全国知事会として抗議する方向に協力はできないか。</p> <p>2 漢方と薬業振興について</p> <p>(1) 「漢方のメッカ推進プロジェクト」において、特に薬業の振興という面からのなお一層の具体策を要望するがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(44番) 川口 正志 (創生奈良)</p>	<p>(2) 「奈良のくすり」伝統産業の再燃活性化は、奈良の即活性化であり、前向きな製薬企業を更に伸ばし新たな雇用につなげるためには、新しい商品開発への環境づくり、条件づくりへの支援が重要となる。そのためには、市街化調整区域において、製薬工場の新築・増築する際における隣接用地の規制緩和や、薬事研究センターの施設整備や機能強化も必要と考えるがどうか。</p> <p>3 介護職員の確保について</p> <p>(1) 介護職員の不足が深刻化するなか、介護人材の確保のため、高校生など若い世代を対象とした取組や、処遇改善につながる介護報酬の改定等に向けた国への働きかけについて、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 高校生を対象とした介護施設等での実習や、介護人材の育成に関する教育課題について、教育長の所見を伺いたい。</p> <p>4 ラグビーワールドカップのキャンプ地招致について</p> <p>ラグビーとゆかりの深い御所と五條・葛城の三市を中心に、キャンプ地の招致を行うことは、本県のスポーツ振興・地域振興にとって大変意義深いものであり、この三市のラグビーワールドカップのキャンプ地招致について、県としても積極的な推進を要望するがどうか。</p> <p>5 県と御所市のまちづくりに関する包括協定と御所市内の県営住宅について</p> <p>御所市内の県営住宅団地の現状をも踏まえ、知事が奈良モデルとして進めている御所市とのまちづくり包括協定に、御所市内の老朽化した市営住宅と県営住宅の改善を内容に位置づけ、県の御所市への一層の支援を要望するがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>教 育 長</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(44番) 川口 正志 (創生奈良)</p>	<p>6 京奈和自動車道御所と御所南インターチェンジ周辺における産業集積地形成事業とパーキングエリアの整備について</p> <p>(1) 京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺における産業集積地形成事業は、知事の積極的な取組により、平成26年度から本格的な事業化に着手されたが、現状の進捗状況について伺いたい。</p> <p>(2) 御所南のパーキングエリアは、中南和地域の振興の拠点という役割から考えると、御所南インターチェンジから五條北インターチェンジの開通にあわせて整備をすることが必要と考えるが、国、県、御所市の間の連携・調整の状況を含め、現在、整備はどのように進めているのか。</p> <p>7 イベント開催時の道路使用について</p> <p>祭りやスポーツ大会など、イベントの開催は多くの観光客などを呼び、県内の地場産品などの出品、販売で活気が湧き、それが奈良県経済の活性化につながるものの、道路使用許可についての警察の規制が、イベントの活気に水を差しているという懸念があるが、イベント開催時の道路使用について、どのように考えているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>警察本部長</p>